

第73回東京都社会福祉大会で「なのはな」が表彰されました



代表の菊池さん(左)と
民生児童委員キャラクター「ミンジー」(右)

第73回東京都社会福祉大会「東京都社会福祉協議会会長表彰・感謝」において、練馬区内で活動している「なのはな」が表彰されました。今回は日頃の活動の様子や思いなどをインタビューで伺いました。

東京都社会福祉大会とは

東京の社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し感謝の意を表する大会です。優れた活動内容を紹介することにより、福祉活動の普及・推進を行い、誰もが安心して暮らせる社会の実現を図ります。(東京都社会福祉協議会ホームページより抜粋)

なのはな

活動内容

「なのはな」は、毎週木曜日に近隣地域の高齢者等の見守りを兼ねた手作り弁当の配達を行っているボランティアグループです。1983年に高齢者給食調理ボランティアグループ「関石木曜会」から出発し、2001年に練馬区からの委託が終了した後は「給食ボランティアグループなのはな」として活動されています。現在は13名のメンバーが60～70食分の弁当を調理し、約20名の地域住民のみなさんが配達を行っています。

●受賞インタビュー

Q 表彰されたお気持ちは？

A みなさんに「すごいね」「今まで頑張った甲斐があるね」と言ってもらえてとても嬉しかったです。

Q 活動をはじめたきっかけは？

A お年寄りの健康の保持や地域との連帯、見守りが重要とのことで1週間に1回でも訪問することが大切だと思い、活動を始めました。



活動の様子

Q これまでの活動を通して嬉しかったこと、よかったことは？

A 配達の人から「美味しかったよって言われました」という報告を聞くことや、直接「美味しかったよ」と電話をいただくことが嬉しかったです。その言葉がみんなのやりがいと活動の糧になっています。

Q 今後の活動について

A この地域から孤独死を出さないよう活動を続けていきたいと思っています。歳を重ね、活動がいつまで続けられるか分からなくなってきましたが、今後も続けられる限りは活動を続けていきます。

令和7年4月 第6次地域福祉活動計画が始まります

練馬区社協は「ひとりの不幸も見逃さない～つながりのある地域をつくる～」を理念に掲げ、令和7年から10年までの第6次計画でも住民の皆さんとともに地域課題の解決に取り組み、福祉のまちづくりを推進していきます。第6次計画では「認め合う」「つながる」「参加する」を計画の柱として「ネリーズ」「ねりま社会福祉法人等のネット」「地域福祉コーディネーター」の3つの推進力が協働し、新たな地域課題への取り組みをさらに広がっていきます。

ネリーズになる!

地域には、近隣の人たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあっている方々「ネリーズ」がいます。地域の良いところや一緒にやってみたいことを気軽に話せる場「ネリーズ交流会」では、ちょっとした気になることや気づきを語り合っています。

ネリーズの輪が続々と広がっています!

ネリーズ大募集!!

～みんなが主役、あなたも主役。地域づくりを一緒に～



ネリーズバッジ

※第6次地域福祉活動計画は、令和7年4月に練馬区社協各窓口や関係機関で配布、練馬区社協ホームページに掲載します。